

大網白里市下水道事業公営企業会計システム更新業務仕様書

1 目的

本業務は、下水道事業会計における公営企業会計システムを更新し、操作性および業務効率の向上を図ることを目的とする。現行システムは導入から一定期間が経過し、操作性や帳票作成機能等の面で業務効率の改善が求められている。新システムへの更新により、職員による日常的な会計処理から決算状況調査までの一連の作業を効率化し、迅速かつ正確な会計情報の把握を可能とする。

2 場所

千葉県大網白里市四天木556番地2 大網白里市下水道課

3 本業務の範囲

構築する公営企業会計システム（以下「本システム」という）に係る業務範囲は下記のとおりとする。

（1）対象会計

大網白里市下水道事業会計

（2）対象業務

① 公営企業会計システムの構築及び附帯作業

ア 公営企業会計全般

- ・予算編成機能（予算編成、予算管理、補正予算等）
- ・会計基本処理機能（調定・収納業務、支払業務、日次・月次処理業務、決算業務）
- ・決算状況調査機能

イ 固定資産管理全般（固定資産台帳、減価償却費等の集計）

ウ 企業債管理全般（企業債明細書、借入シミュレーション等）

- ・決算状況調査機能

② 本システムの操作を円滑に行うために必要な支援

本市下水道事業の3事業（公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティプラント事業）を独立して管理できること、また、農業集落排水事業の一部を公共下水道事業に統合（広域化）する場合にも対応できること。統合後は対象データの引継ぎ及び会計区分の変更が容易に行える設計とすること。

（3）運用保守業務

① 構築業務で構築した本システムの運用保守

② 企業会計事務担当者の負担軽減のために必要な支援

（4）現行システムからのデータ移行業務

データ移行の範囲は以下のとおりとし、移行時における職員の通常事務に負担のかからない方式で行うこと。なお、現行システムに保有している伝票データの移行は不

要とし、現行システムからのデータ抽出は、発注者からCSV形式等のデータを提供する。

- ① 勘定科目、予算科目
- ② 債権者、債務者情報
- ③ 金融機関情報等（インボイス登録番号を含む）
- ④ 固定資産管理情報
- ⑤ 企業債管理情報
- ⑥ その他、必要と認める情報

4 稼働時期

本システム導入に係る契約期間等は下記のとおりとする。なお、本稼働日までに必要な職員研修等を実施すること。

- (1) 契約期間：令和8年4月1日～令和14年3月31日
- (2) 使用期間：令和9年4月1日～令和14年3月31日（60か月、保守等を含む）
- (3) 仮稼働日：令和8年10月1日（令和9年度予算が登録可能な状態にすること）
- (4) 本稼働日：令和9年4月1日

5 契約範囲

本契約には、本システムに係る初期導入費用及び利用料（使用料、保守料、データセンター利用料等）に係る費用を含むものとし、各費用については下記のとおり支払うものとする。

(1) 初期導入費用（一括払い）

成果物の検収後、請求があった日から30日以内に受注者へ支払う。

(2) システム利用料（毎月払い）

本稼働後、利用期間に応じ、請求があった日から30日以内に当該月に発生した利用料を受注者へ支払う。

6 成果物

- (1) 公営企業会計システム一式（導入設定済）
- (2) データ移行報告書
- (3) 操作マニュアル（紙・電子媒体）
- (4) 操作研修資料および実施報告書
- (5) テスト運用結果報告書
- (6) 稼働確認報告書

7 システム機能要件

別添「（様式8）機能要件仕様書」による。

8 システム基本要件及び保守要件

- (1) 本業務の実施にあたっては、業務委託契約書及び本仕様書によるほか、次に掲げる関係法令及び施行規則等に準拠し実施すること。

- ①地方公営企業法、同法施行令、同法施行規則
 - ②地方自治法
 - ③地方財政法
 - ④消費税法
 - ⑤下水道法
 - ⑥その他関係法令、規則等
- (2) 法令、規則等の改正等があった場合には、速やかに対応できること。
- (3) 別添「(様式8)機能要件仕様書」に定める機能を有すること。
- (4) 公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティプラント事業をセグメント管理できること。
- (5) 本システムのクライアント数は下記のとおりとする。
- ア 公営企業会計システム4クライアント
 - イ 固定資産管理システム、企業債管理システムは、1クライアント
- (6) 契約期間中に農業集落排水事業の一部を公共下水道事業へ接続する広域化を予定している。接続時に、財務諸表、固定資産台帳の統廃合を行うため、統廃合に対応できるシステムであること。なお、今回の提案額には統廃合に係る費用は含めないものとする。
- (7) 科目管理は、1科目最低5階層とすること。(款・項・目・節・細節)
- (8) 科目ごとに、セグメント区分、消費税区分が管理できること。
- (9) セグメント別に別紙1「セグメント帳票一覧」が出力できること。
- (10) 前記出力帳票は、プレビュー機能、PDF、CSV または Excel 出力機能を備え、エクセルを用いて加工・修正・編集ができる。なお、Excel で出力されるファイルは、加工用データとして利用することを想定し、セルの結合、列行の非表示設定等を行っていないこと。
- (11) 伝票入力において、予算科目の入力に伴い、勘定科目、消費税区分等が自動で表示されるようにすること。また、1回の伝票起票処理で複数の予算科目を登録できること。
- (12) 消費税率の変更等による改修は無償で対応すること。
- (13) LGWAN 環境で動作するシステムであること。
- (14) 本システム稼働後は、訪問及びリモートによるサポートが可能であること。
- (15) 常に最新の状態となるようにシステムのバージョンアップを行うこと。
- (16) クライアント機器の現地調整を行い、本システムが本稼働するまでに必要な作業を行うこと。
- (17) 操作及び本システムに関する問い合わせ等に対する運用、管理サポート全般について迅速に対応すること。また、システムの操作方法に付随する経理の処理方法や実務内容の問い合わせに対しても誠実に対応すること。
- (18) データのバックアップを定期的に行い、障害発生時は、迅速な復旧支援を行うこと。
- (19) その他必要な保守を実施すること。
- (20) LGWAN 上での認証管理、通信暗号化、操作履歴管理、バックアップ機能を備えること。

- (21) データセンター機器につき、コンピューターウィルス対策ソフトを導入し定期的に更新するなど、コンピューターウィルス対策を十分に行うこと。
- (22) この仕様書に記載されていない事項については、双方で協議の上、定めるものとする。

9 機器仕様に関すること

- (1) 本システムは LGWAN 上で利用できる LGWAN-ASP 方式を採用したシステムであること。(職員のノートパソコン上で LGWAN 環境にて利用可能であること)
- (2) データセンターは国内又は国際認証等を取得あるいは品質基準を満たした、機密性・可用性の高い施設に設置すること。また、サーバやアプリケーション等にも十分なセキュリティを施し、外部からの侵入及び外部への情報流出がないような措置を行うこと。
- (3) データセンター側のサーバ及び通信回線は、本システムが快適に動作するよう十分なスペック及び通信帯域を確保すること。また、発注者の LGWAN 通信に影響を与えるような不要なデータ通信は行わないこと。
- (4) 本システムを利用するクライアント PC、プリンタ等は、既設の LGWAN 接続情報系端末を使用するため、既設の LGWAN 接続系端末で快適に動作する仕様とすること。
- (5) クライアント PC の仕様は次に掲げるとおりとする。

なお、その他標準インストールソフトウェアは別紙2「職員用 PC 標準インストールソフトウェア」を参考にすること。

仕様項目	仕様内容
(1) 型	Dell Pro 16 (PC16250)
(2) CPU 性能	Intel Core i5-1200U 10コア 最大 5.0GHz
(3) メインメモリ	8GB×1
(4) 補助記憶装置	
① ストレージ	S S D 256G B
②DVD/CD ドライブ	※DVD ドライブなし
(5) OS	Microsoft Windows11 Professional 64 ビット

10 検収

本稼働前（令和9年3月予定）に検収を行う。動作確認・帳票出力・機能試験により合否を判断する。納品書および報告書は書面および電子データ（PDF等）で提出する。

11 その他

- (1) 受注者は市職員と連携し、進捗報告を行うこと。

- (2) 本仕様に定めのない事項は協議の上決定すること。
- (3) 保守・サポート契約条件は別途協議の上定めること。
- (4) 経理担当者変更時等に合わせ、操作研修会を少なくとも 1 年に一度開催すること。
- (5) 履行期間満了時の引継ぎ対応

契約満了時または次回システム更新時に変更がある場合、受注者は次期受注者への引継ぎに誠実に対応する。また、次期受注者が指定するデータレイアウトにより、システム移行に必要な全データを提供すること。

別紙1「セグメント帳票一覧」

No.	区分	帳票名	備考
1	予算	予算見積要求書	前年度予算額、本年度予算要求額、内容、算出根拠が記載されていること
2	予算	予算項目別総括表	
3	予算	予算事項明細書	
4	予算	予算査定結果一覧表	本年度予算要求額に対して査定された金額を表示できること
5	予算	予算チェックリスト	予算科目等により集計し、前年度予算額と比較できること
6	予算	実施計画書	集計した予算額を表示できること
7	予算	予定キャッシュフロー計算書	予算額をもとにシステムで作成できること
8	予算	予定貸借計算書	予算額をもとにシステムで作成できること
9	予算	実施計画明細書	集計した予算額の明細を表示できること
10	月次	総勘定元帳	
11	月次	試算表	税込・税抜別に出力できること
12	月次	月次貸借対照表	
13	月次	月次損益計算書	
14	日次	予算整理簿	予算執行状況の明細を表示できる帳票
15	月次	予算差引表	
16	月次	収益費用明細表	税込・税抜別に出力できること
17	月次	消費税計算明細書	
18	月次	予算執行状況表	収入・支出とも出力できること
19	月次	キャッシュフロー計算書（累計）	
20	月次	キャッシュフロー計算書（月別）	
21	補助	未払金管理表	
22	補助	未払金整理簿	
23	補助	未収金管理表	
24	補助	預り金管理表	
25	補助	現金出納簿	
26	補助	預金出納簿	
27	補助	仮受消費税整理簿	
28	補助	仮払消費税整理簿	
29	補助	未精算チェックリスト	
30	補助	予算-支出負担行為対比表	予算額に対して支出負担行為額を比較したもの
31	補助	支出負担行為状況表	科目ごとに支出負担行為額、件名が記載された一覧表
32	支払	支払予定表	
33	支払	未完了データ一覧表	
34	月次	科目別支出予算差引簿	
35	月次	調定収入額月集計表	
36	月次	会計日計・月計表	
37	月次	銀行預金別資金残高表	複数の銀行預金に対応した残高表を作成できること
38	月次	月次合計残高試算表	
39	月次	現預金出納簿	
40	月次	予算執行明細表	収入・支出とも出力できること
41	月次	予算額内訳表	
42	月次	月次・年次消費税計算書	
43	月次	月別損益計算書集計処理	
44	月次	セグメント別仕訳金一覧	
45	月次	セグメント別収入状況	
46	日次	支出負担行為兼支出票	
47	日次	支出負担行為票	
48	日次	支払伝票	
49	日次	支出負担行為票（更正）	
50	日次	支払伝票（予算なし）	
51	日次	振替伝票（振替）	
52	日次	収入伝票	同時票に対応できること
53	日次	収入伝票（未収入金）	

54	日次	収入調定票（振替伝票）	
55	日次	支払予定表	
56	日次	支払内訳書	
57	日次	支払調書	
58	日次	仕訳表	
59	日次	仕訳日計表	
60	決算	経営状況表	
61	決算	決算報告書	
62	決算	決算報告明細書	
63	決算	決算損益計算書	
64	決算	決算貸借対照表	
65	決算	剩余金計算書	
66	決算	収益費用明細書	
67	決算	資本的収支明細書	
68	決算	キャッシュフロー計算書（累計）	
69	決算	キャッシュフロー計算書（月別）	
70	決算	消費税額集計表	
71	決算	消費税額計算書	
72	固定	固定資産台帳	
73	固定	固定資産取得報告書	
74	固定	固定資産除却報告書	
75	固定	固定資産減価償却一覧表	
76	固定	固定資産財源別減価償却一覧表	
77	固定	固定資産財源別除却報告書	
78	固定	予測固定資産明細表	
79	起債	起債台帳	
80	起債	起債台帳内訳	(借入先別、事業区分別、目的区分別)
81	起債	起債の借入先別、利率別現債高表	
82	起債	起債償還金明細書	
83	起債	償還予定表	(借入先別、事業区分別、目的区分別) に 5~10 年程度作成できること
84	起債	起債台帳明細書	

※上記帳票名は例示であることから異なる名称も可とする

※上記帳票については原則セグメント毎の出力が可能であること。

※その他、仕様を充足するために必要な帳票を適宜追加すること。

(別紙2)

職員用PC標準インストールソフトウェア

- ・ Microsoft Edge (既定のブラウザ)
- ・ Google Chrome
- ・ Office ソフト (Word、Excel、Powerpoint、Access)
- ・ Adobe Acrobat Reader DC
- ・ ラベルメイト Light 5
- ・ 7-zip
- ・ CubePDF
- ・ CubePDF Utility
- ・ アタッシュケース
- ・ Jw-cad
- ・ チビすな!!
- ・ PDF X-Change Editer ※無料版
- ・ VLC Media Player
- ・ Windows Media Player Legacy
- ・ 一太郎ビューア
- ・ Microsoft Visual C++ 2015
- ・ MassiGra045
- ・ .NET Framework 3.5

上記ソフトウェアのバージョンは、原則最新のバージョンとします。